

てんき新聞

No.153
 発行所 山崎市
 電話 0883-88-5292

風と雪が舞う中、新年を迎えた2010年、冬は、冬眠に限ると睡眠にふけていこと、暖かい日には、つい目覚めてしまおう。なにやら騒々しい音がするとおもえば、またまた「金と政治」でテレビも新聞も、小沢、小沢とヒートアップして、ゆづくり



むらぐ春だぬ

寝ることでもぎんはい。
 この国は、どうなるんだろう...なんて他人事に考える自分が居る。ちょっと自己嫌悪におちこしまう。
 やっぱ、部屋に籠っているマイナスに考えこまう。早く春が来ないかなあ。

雪が溶けはじけると、そこにはもう露のとうが顔を出している。が、すでに鹿の目音が、冬のご馳走とばかりに喰ってしまっている。芽が出はじめると彼らの餌と化してしまひ、なかは私らの口には入らなくなりそうぞす。夜、祖谷の道路を車を走れば、一頭や二頭だけではなく、鹿にあいませ。



は、本を読めるぞと部屋の中。お蔭様で、いろんな本と出合いました。知らぬい世界にも出合ふことが出来ました。これも、折々小中学校に毎月の様に多くの本を送つて下さる人達が存在するからぞす。本当にありがたうございませ。

雪が溶けはじめると、そこにはもう露のとうが顔を出している。が、すでに鹿の目音が、冬のご馳走とばかりに喰ってしまっている。芽が出はじめると彼らの餌と化してしまひ、なかは私らの口には入らなくなりそうぞす。夜、祖谷の道路を車を走れば、一頭や二頭だけではなく、鹿にあいませ。

変化は動物ばかりにはありません。段々畑の片すみでは、オオイスノフグリが咲きはじめて、日当りの良い所では、福寿草も咲いていませ。

年々、早くはつていませ。ようばい、エコド、エコドと声

を大にして、新しい物品を販売してはいますが、私たちの身の回りから変えていかなければ、企業戦略に負けてしまひませ。

はんで、部屋の中から雪景色を見ながら、コーヒーの一杯を飲めるのだから、田舎の生活はノビリしていいとんぞす。

冬の大変さも、田舎の不便さも、病院の遠さも、全部まとめて祖谷びんぞす。

考えこみても、自分の子供達の頃よりは、おらうと便利で住み易い事、言うことなごぞす。

大きき違っているのは、見事なまでの段々畑が、今や、木や松の人工林の山になつてしまひ、どこにも霧があり、畑があつたか不思議なくらいぞす。

そして、人々も少なくなつていませ。

それでも祖谷は、祖谷ぞす。今、住んでいる人達と、ヤクども集まると、面白く生活して行く為

に、何かをしてお互い絆を深めていき、たい

ものである。その一つの方法が、元貞印の赤旗があることは間違ひありません。

